

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	愛ちゃんのおうち			
○保護者評価実施期間	2026年 1月 21日		～	2026年 2月 6日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数)	1名
○従業者評価実施期間	2026年 1月 21日		～	2026年 2月 6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数)	10名
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 2月 28日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別活動だけではなく、集団活動を多く取り入れている。	医療的ケア児や重度心身障害児は個別のケアが多く、集団で行う活動の時間を作ることが難しいが、活動の計画を密に行うことで、集団活動を多く取り入れている。	年齢が上がっていくにつれて学校から帰ってくる時間が遅くなるため、さらに活動時間が短くなってきているので、活動内容の見直しや、短時間でもできる内容の活動のレパートリーも増やしていく。
2	達成感を感じることができる活動や行事を行っている。	自分たちが製作に関わった商品を保護者や関係機関の方に販売する行事を年1回行っており、商品だけではなく看板やポップなども児童と一緒に考えながら準備している。	児童が興味を持てるような商品や作成方法の情報を収集している。
3	年齢にあった活動内容を個別に提供している。	それぞれの希望を聞いて、室内での活動や屋外での活動(雪遊び、公園等)をどのようにしたら行えるかをスタッフ、保護者等で相談して行っている。	外出先や移動中のトイレや食事場所などの情報収集を普段から行うことで希望があったときにスムーズに行動できるようにする。 必要に応じて主治医等とも相談を行う。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	研修の参加が難しい。	医療的ケア児や重症心身障害児を対象にしている研修は少ない。	同様の児童の受け入れを行っている事業所と協力し情報共有や見学等を行っていく。
2	保護者同士が交流できる機会が少ない。	事業所の大きさを考えると事業所で行うことが難しい。	地域の貸しスペースなどを活用して他の行事と合わせて行うことも検討している。
3	事業所が狭くなってきている。	受け入れている児童の年齢が上がることで身体も大きくなり、活動スペースが狭くなってきている。	事業所内の物の配置や物品の整理、活動時間と児童の人数等に合わせたレイアウト変更を行っている。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	愛ちゃんのおうち
------	----------

公表日 2026年 3月 20日

利用児童数 2026年 2月 7日 2名

回収数

1枚

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	子ども達の活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	1					
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	1					
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境(※1)になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	1					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	1					
適切 な 支 援 の 提 供	5	子どものことを十分に理解し、お子様の特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	1					
	6	事業所が公表している支援プログラム(※2)は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	1					
	7	お子様のことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)(※3)が作成されていると思いますか。	1					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	1					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	1					
	10	事業所の活動プログラム(※4)が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	1					
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	0					
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	1					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	1					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1					
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	1					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	1					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	1					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者様同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1					
19	お子様やご家族様からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、お子様や保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1						
20	お子様や保護者様との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	1						

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をお子様や保護者様に対して発信されていますか。	1					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	1					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1					
	25	事業所より、お客様の安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	1					
満足度	27	お子様は安心感をもって通所していますか。	1					
	28	お子様は通所を楽しみにしていますか。	1					
	29	事業所の支援に満足していますか。	1					

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		愛ちゃんのおうち		公表日		2026年 3月 20日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	7		・子どもたちが大きくなったため狭くなった ・毎日相談して配置や活動場所の確保に努めているが活動スペースや休息スペースが少なく、窮屈に感じる。また、危険な場面もある為行動の制限をしなければいけない時もある。 ・臥床することも動き回れる利用児がいる為スペースが狭い。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	7	・適切とは言えないがそうなるように工夫している	・スタッフ不足を感じる ・職員が休んだり、送迎に出たりすると職員1人で1～2名をみることもあり、観察はできたとしても活動やケアをするときに手が足りないと感じることがある	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	4	・狭いなか工夫しているが限界がある ・ゴミがなく、水回りもきれいにしている	・医療機器などの関係で床にコードがスペースがある為、歩きづらいスペースがある。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	4		・子どもたちが大きくなったため狭くなり、活動に制限が出やすい ・ワンフロアの為スタッフ同士の打ち合わせもこどもたちに聞こえることがある。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	6		・静養室のスペースが狭い	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	4	・各職種集まって話し合いをしている	・「広く」とまでは言えない	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	2		・保護者会をやって欲しいと希望があるが、できていない	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	2	・意見等をいつでも伝えることができる環境だと思う ・会議を通して意見交換しやすい場になっている	・事後報告の時もある	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	10	・第三者評価を行っていない		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	1	・定期的に研修があり、自己研鑽を高めることができている	・外部機関の研修動画を法人で行っているが、重心デイの内容ではないものがある。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	10	0		・公表されているが細かく説明しきれていないところがある	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	10	0	・保護者面接をはじめ、日々情報共有を行ったうえで今の子どもにあった計画を作成していると思います。 ・発信が難しいこどものニーズも予想しながら計画している		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	0	・共通認識を持ち、検討を行うことができていると思います。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	5	独自で作成したものを使用している		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	1	・時間はないけれどチームでできるようにしている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	0	・各職種の意見を取り入れながら行っている	・もっと皆で話し合いたい	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	10	0			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	2	・児童発達の利用児が少なく集団活動があまりできていない ・個々の目標に沿いながら集団活動に参加できるように内容を工夫している。	・利用児童の特性上、一人に対し複数名必要な場合もあり、集団活動を行うだけの人員が足りない時がある	

関係機関や保護者との連携	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	0	・毎日、各職種からその日のリハビリ予定や遊びについて伝達があり、連携して動くことができていると思います。 ・ワンフロアの特徴を活かし常に状況把握をしチームで協力し合っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	5	・送迎等で終了後には難しいため、翌朝の打ち合わせや事業所内SNSで共有している ・その場にいる限られたスタッフ間でのみ簡易的に共有されている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	1	・活動での気付きを情報共有し、改善に努めている	・記録は徹底して残せているとは言えない
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10	0		
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	0		・教育機関との連携が弱いと思う
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	2		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	1		
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
30	(自立支援)協議会なども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。					
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8	2		・スムーズにできているとはいえない	
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	4		・他の事業所や教育機関との交流は少ないと思う ・対象のこどもがいなかった	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0	・スタッフと保護者との間では、日々情報共有し伝達する事で課題の模索など話し合うことができていると思います。 ・連絡ノートや面談の機会で行われる日々のこどもの変化を確認共有している。		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	8		・家族が参加できる研修はできていない	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	8		・年1回「みんなのお店」では顔を合わせているが交流の場にはなっていない ・要望はあるが実現できていない
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	3		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10	0	・LINEでお出かけやクッキングの事について個々にお知らせしている	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	10	0		
45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	0	・年に1回の「みんなのお店」で招待しているがその1回のみ		
46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	2		・災害訓練は少ないと思う	
47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10	0	・てんかん発作は症状や頻度も変化しやすいため情報伝達に漏れがないよう注意している		

非常時等の対応	48	食物アレルギーのあることについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	0		
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	0		
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	2		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10	0	・ 検討が必要な事案が発生した際には、すぐにスタッフ間で共有し、対応策を相談しているが、全職員には周知できていないことがある	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10	0	・ 資料と共に研修を受けることができている	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9	1		